

# みんなの 議会

## おおさと NO.192

定例会

12月 3月

9月 6月

町花：つつじ

ぶどうに  
魅せられて…

2018 平成30年11月1日  
宮城県大郷町議会

2 29年度決算 どう使った74億円  
4 各種会計を徹底検証

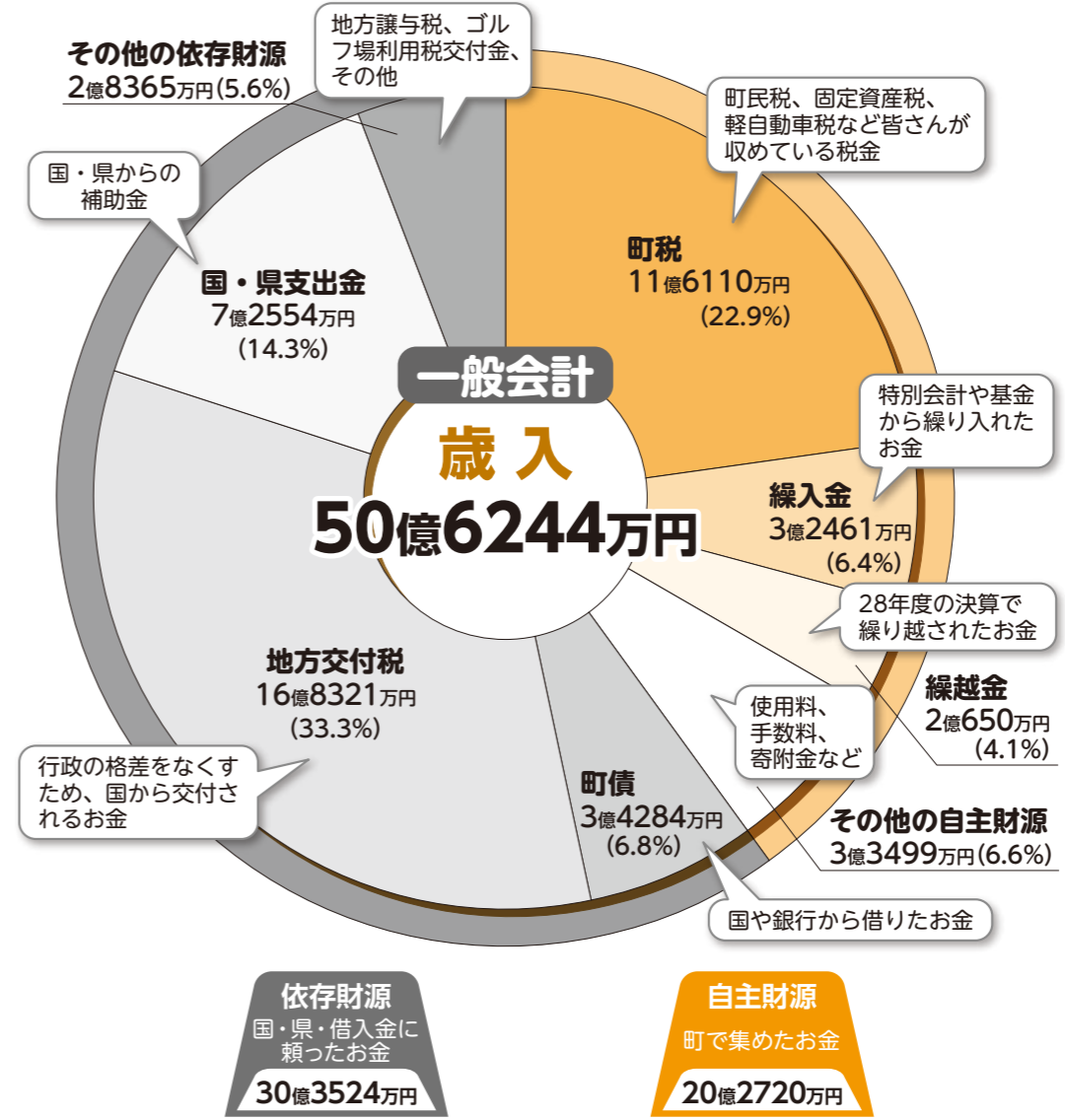
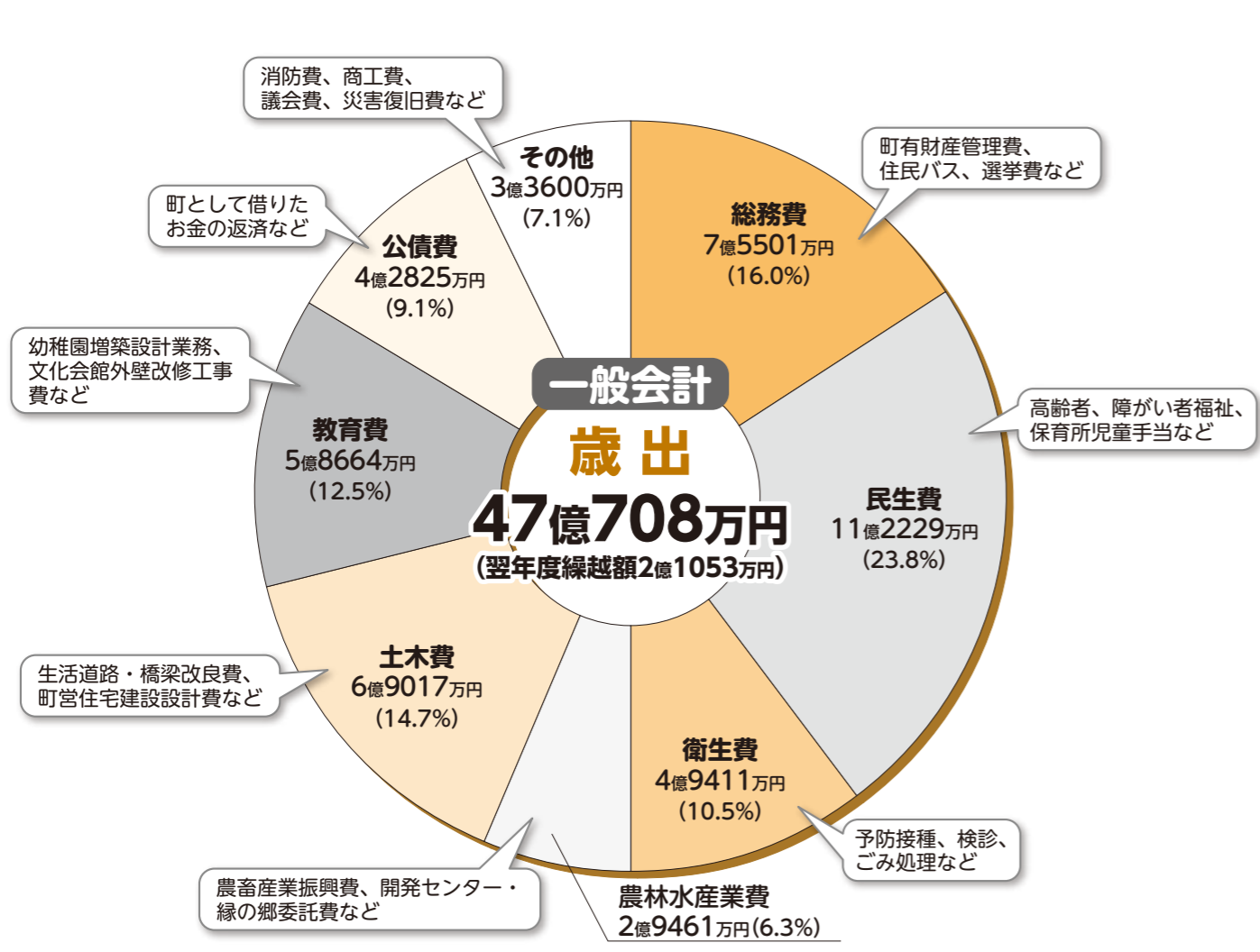
6 町当局へ16項目の意見を提言  
14 一般質問

27 追跡レポート  
その後どうなった

29年度

# 決算 どう使った？ 74億円

一般会計  
特別会計



9月定例会は、9月6日から21日まで16日間の会期で開かれ、一般質問では8人の議員が登壇し、人口減少対策、教育環境整備、耕作放棄地対策など町政全般にわたり論戦を展開しました。  
また提案された補正予算9件、報告2件、同意1件などの議案を審議し、原案のとおり可決しました。  
平成29年度決算は一般会計、7つの特別会計および水道事業会計を含む、総額74億円の決算を認定しました。

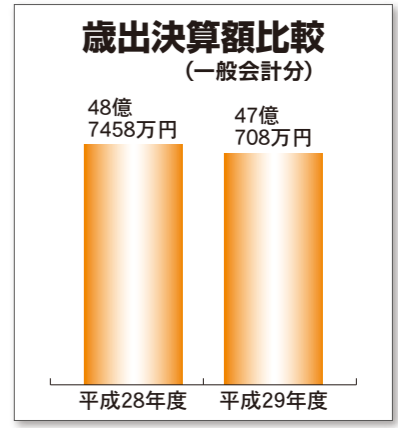
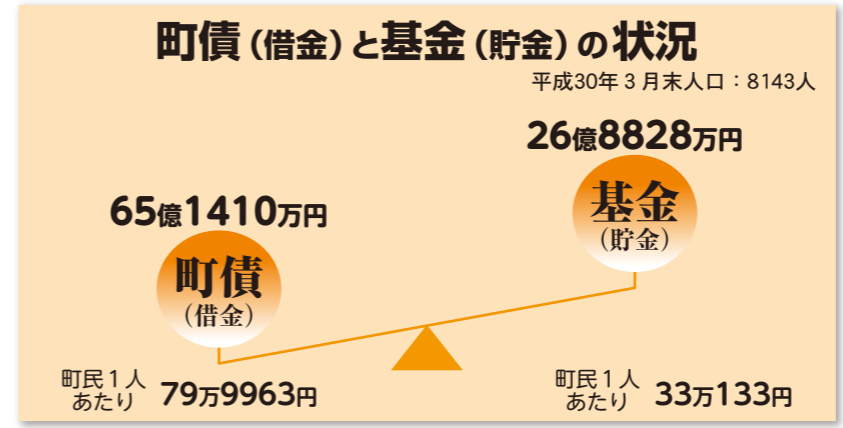
●各種決算額●

会計別	平成29年度決算
一般会計	47億708万円
国民健康保険	9億2786万円
介護保険	9億7722万円
後期高齢者医療	7610万円
下水道事業	2億3800万円
農業集落排水事業	5634万円
戸別合併処理浄化槽	5706万円
宅地分譲事業	1億1531万円
収益的支出	2億3266万円
資本的支出	8745万円
合計	74億7508万円

※1万円未満は四捨五入

このような事業に使われました

- 住民バス車両購入に 1374万円
- 宅地分譲事業繰出金に 1587万円
- 文化会館外壁改修工事に 5337万円
- 学校給食調理および配送業務に 1834万円
- ごみ収集業務に 1762万円



# 一般会計・特別会計・水道事業会計決算を

# 徹底検証

平成29年度の決算を詳細に審査するため、特別委員会を設置（委員長：和賀直義委員）し、延べ5日間にわたり各課ごとに質疑応答を行い、慎重審議・検証しました。本会議では、委員会審査報告の後、採択し一般会計及び各種会計を認定しました。



若生 寛 副委員長 和賀 直義 委員長

決算審査

## 街路・防犯灯

**問** 防犯灯の数を増やして町をもっと明るくすべきでは。  
**答** 防災担当の職員と一緒に回ってみたいと思っていた。定住促進という点からも前向きに取り組む。

## 定住化

**問** 人口減対策に取り組んでいるなか、職員にも率先して町内に定住するように町長から働きかける時期なのではないか。  
**答** できれば本町に住みたいという職員も多くなる。意向を聞きながら定住を促していきたい。

## 大雨対応

**問** 雨天時に大松沢地区のソーラー工事現場周辺の土砂流出の確認はどうしているのか。  
**答** 大雨の際は、施工中の業者へ一斉メールを送信し、パトロール結果などを報告していた。

## イノシシ被害

**問** 被害の現状と対策は。  
**答** 目撃情報は3件あるがイノシシによる作物被害とは断定できていない。

## 児童手当

**問** 児童手当対象者の転入転出による子どもの減少数の把握は。  
**答** 把握していない。今後は集計を取りながら状況を掴んでいく。



▲フェンス設置で利用者の安全確保を（郷郷ランド）

## シルバー人材センター

**問** シルバー人材センターの指定管理料増額の要因は。  
**答** 事業活動によって基準額があり、事業が増加しているため増えている。

## 放課後等デイサービス

**問** 放課後等デイサービス事業の内容は。  
**答** 民間の事業者が障がいを持つお子さんを放課後等に預かる事業を展開している。旧粕川小学校舎改修費用に対して補助したもの。

## 郷郷ランド

**問** 郷郷ランドの県道側入り口付近にフェンスの無い箇所があるが子どもの安全確保のため設置すべきでは。  
**答** 利用者が想定以上に増えているので、状況を踏まえて安全対策を講じる。

## 介護認定

**問** 介護認定審査において町の審査が厳しいのでは。  
**答** 調査の際に本人だけでなく、家族などからも聞き取りを行い、特記事項として詳しく書くよう対応している。

## 包括支援センター

**問** 委託費で392万円の不用額が出ているが。  
**答** 社会福祉士が退職したが、後任が決まらずにいたため人件費が残った。

## 歴史民俗資料館

**問** 歴史民俗資料館準備室は現在どのような状態なのか。  
**答** 旧大松沢小学校は雨漏りなどがあり、貴重なものをピックアップして別の場所への展示を考えていく。旧大松沢小学校は使われないとされている。

## 橋梁点検

**問** 橋梁の点検実施数は。  
**答** 16橋おこなった。平成27年度より3年間で、全76橋を点検した。  
**問** 補修が必要な橋は。  
**答** 4橋あり、29年度2橋実施、30年度に2橋実施予定。

## 出産祝い金

**問** 出産祝い金の増額を。来年度に向け努力する。

## 奨学資金

**問** 奨学金貸付残高がいくらかあり、その中の収入未済額の対応は。  
**答** 年度末で1億1939万1000円になっていて、滞納者に対しては税務課と共同で対応している。

## 英語力向上

**問** 英語力など、今以上に語学力を上げる教育を考えた。  
**答** アンケート調査で移住定住条件として英語を含む語学力など教育の充実があり、重要と考えている。



▲子育て支援の充実を



▲楽しい授業で英語力向上を

## 戸別合併処理浄化槽

**問** 工事請負費35万7200円の不用額が出ている。何基設置したのか。  
**答** 15基予定し14基設置した。

## 滞納整理

**問** 徴税に関して県の滞納整理機構に移管した平成29年度の実績は。  
**答** 滞納整理機構に移管した人数が33名分で829万8277円。徴収額は695万5908円で、徴収率は83・82%。

# 町当局へ16項目の意見を提言



## 分館改修負担軽減を

公民館分館の改修工事においては、受益者負担のあり方について検討されたい。

- 問** 分館補修工事費の行政区分担金割合の軽減を考えては。
- 答** 提案として受けておく。



## 学力向上を

サマースクール等のさらなる充実を図り、学力向上に努められたい。

- 問** サマースクール・ウインタースクールの参加者が減少しているが対策は。
- 答** 日数の減少などの影響があるが、今後、学校や保護者などにPRをしながら参加人数増に繋げたい。



## 総合的な公共交通を

利用者の利便性を考慮した、総合的な公共交通体制を早期に構築されたい。

- 問** どのような方法で利用人数を増やすのか。
- 答** 新公共交通（デマンド交通）の試行運行を平成31年1月から9月まで実施する。その動向を見て平成32年度以降の住民バス運行について見直しをする計画である。



## 公共施設監理の徹底を

公共施設の改修・修繕においては、綿密な設計を立て、監理を徹底されたい。

- 問** 町民体育館のトイレ改修後も男子トイレは使いづらいようだが。
- 答** 確認不足であった。今後注意して取り組む。



## 防火水槽の更新を

無蓋防火水槽を計画的に耐震型有蓋防火水槽に更新されたい。

- 問** 事故が起きてからでは大変なので、計画的に耐震型有蓋防火水槽の設置を。
- 答** 防火水槽100基中蓋のないのが50基である。危険のないような措置を消防団とともに取り組む。



## 倒壊危険住宅対策を

倒壊危険住宅を調査し対策を図られたい。

- 問** 廃墟になっている家の調査は実施しているのか。
- 答** 平成29年度は実施しなかったが、平成30年度は区長さんを通じて廃墟の調査を行った。



## 物産館・縁の郷活性化を

物産館及び縁の郷の集客増に努められたい。

- 問** 縁の郷の案内看板が確認しづらいとの苦情があるが改良すべきではないか。
- 答** 町長の構想もあるので、その中で改修を考えたい。



## 敬老会の工夫を

敬老会の工夫と敬老祝い金について検討されたい。

- 問** 敬老会のあり方について、再考しては。
- 答** 見直しの作業に着手している。



## 健康診断の周知徹底を

健康診断の周知を図り、受診率向上を図られたい。

- 問** 無料のがん検診の該当者へ周知の徹底を。
- 答** 今年度の実施の反省を踏まえ、来年に向けて検討させていただく。



## 有形・無形文化財支援を

貴重な文化財の保管に努め、無形文化財伝承にさらなる支援を図られたい。

- 問** 羽生田植踊りなどを伝承するに当たり子ども達の道具などに費用が掛かる。文化財保護費の増額をすべきでは。
- 答** 少ないと思うので補正予算などで対応したい。



## 空き家バンク登録推進

空き家バンクへの登録を推進し、移住・定住促進を図られたい。

- 問** 登録実績が上がっていないが。
- 答** 町外の所有者にはお知らせをしたが、改善には至っていない。引き続き登録数を増やす努力をする。



## ブロック塀の安全策を

ブロック塀の安全確認を実施し、危険なブロック塀の解消に努められたい。

- 問** 撤去に対して、補助金を増額するなどの思い切った施策を。
- 答** 財政状況を見ながらやっていきたい。

### 推進 宅地分譲事業特別会計

恵の丘の早期完売に努められたい。

問 残っている区画は、お客に好まれるような工夫を。

答 完売まで時間がかかるとすれば、思い切った施策を講じたい。

### 拡充 水道事業会計

有収率向上のため、漏水調査を引き続き実施されたい。

問 漏水調査は今年度どのくらい進んでいるのか。

答 貝柄塚、江戸沢で、通水が不能になるくらいの漏水が多発しているため、重点的に石綿セメント管の布設替え工事を現在進めている。

### 拡充 下水道事業特別会計 農業集落排水事業特別会計

加入促進を図り、水洗化率の向上に努められたい。

問 加入促進の対策は。

答 上下水道フェアのイベントを通して水洗化の普及に努力する。

## 討 論

### 一般会計

#### 反対 千葉勇治議員

町民体育館トイレ改修での発注ミスなど、執行部からの報告がなかった。問題が生じた場合は、速やかに議会へも報告すべきであり、その姿勢を指摘し反対する。

#### 賛成 熱海文義議員

2億2000万円を基金に残すなど、収支バランスは評価できる。財源比率も自主財源が増加しており、努力の跡が見られるため賛成する。

### 宅地分譲事業特別会計

#### 反対 高橋重信議員

前日の決算審査特別委員会においては賛成の立場に立ったが、きょうは反対の立場に立ち討論する。造成工事は完了したが、どうしても納得できるものではないため反対する。



▲慎重審議が行われた決算審査特別委員会

### 監査委員の意見(要約)

## 自主財源確保に努め計画的な財政運営を

#### 一般会計

地方交付税等の依存財源の構成比率は60%、自主財源は40%と依存型の財政構造となっている。なお一層の自主財源確保に努め計画的な財政運営を望む。

歳入では町税や寄附金が増額となったが、収入未済額では、依然として残る(株)おおさと地域振興公社の未償還金解消を望む。

歳出では黒川地域行政事務組合負担金や公共施設老朽化が進み修繕工事が増加している。第2次公共施設等個別整備計画のものと的確かつ適正に維持管理することを望む。

#### 国民健康保険特別会計

医療費の伸びを適正化させるためにも政策目標を掲げ生活習慣病予防策を徹底し、保険給付抑制に努められたい。

#### 介護保険・後期高齢医療特別会計

高齢化に伴う給付の増加は必至であり、予防医療事業による健康寿命の伸長増進等で給付の抑制に努力されたい。

#### 下水道・農業集落排水・戸別合併浄化槽事業特別会計

使用料の収入未済額が前年度より減少していることは評価するが、一般会計から三事業合わせて2億2766万円の繰入金により運営されている。一層の水洗化加入促進と経営健全化に努められたい。

#### 宅地分譲事業特別会計

定住促進を進めるために早期完売に向け努力願いたい。

#### 水道事業会計

水道事業経営戦略に基づき、有収率向上を目指し、老朽管の計画的な更新や漏水調査を実施し、経営健全に努められたい。

#### 監査意見の遂行状況

収納対策について一定の評価はされるが、滞納者の中には、重複している方もおり、債権管理条例を遵守され各課とも情報の共有を図り連携を密に滞納額縮減に努められたい。事務執行については、文書取扱規程・財務規則に基づき行うのが基本であるが、規則等に沿わない事務処理が平成29年度事務事業でも散見された。

今後事務執行に当たっては、規定・規則を厳に遵守し適正な事務処理を遂行されたい。

# 小中学校にエアコン設置

一般会計と7特別会計及び水道事業会計の補正予算が提案され、可決しました。  
一般会計は1億8798万3千円を増額し、歳入歳出それぞれ50億4746万4千円となりました。

めだま



## 今回の主な

546  
万円

### 高齢者外出支援事業（ふれあい号） …75歳以上の高齢者のみの世帯に対して外出支援の送迎を行う事業



**問** 民間委託とした場合、75歳以上の方の細やかなニーズに対応できるのか。  
**答** 企画財政課長 前日までに予約しデマンド方式で運行する。試験運行を31年1月から9月とし、町のワゴン車2台を使用する。

**問** 該当者への周知徹底は。  
**答** 町長 該当の75歳以上の高齢者世帯に直接書面にて通知をし、登録をしてもらう。試験運行の実績、住民ニーズを反映し、31年10月から本格運行に入る。

3100  
万円

### 町道(5ヶ所)の側溝整備 並びに補修工事



**問** 採択した請願の畑ノ中前畑線の取り組み状況は。  
**答** 地域整備課長 地元より、側溝整備だけでなく、生活道路改良の強い要望があり、年度内に測量設計業務を実施する。

4312  
万円

### 除融雪業務



町道138路線（約116km）分と  
小中学校などの公共施設

151  
万円

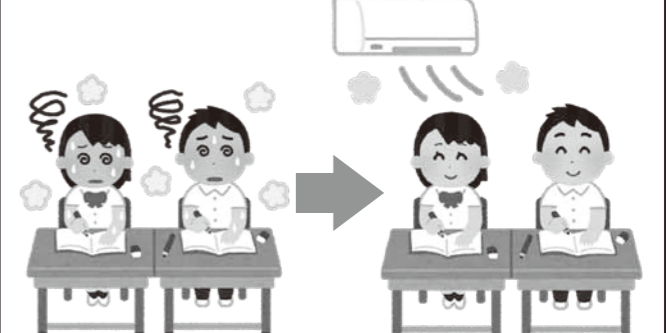
### 認定こども園移行のための 改修設計業務



**問** 改修の内容は。  
**答** 建築基準法、消防法にのっとった内装の防炎化、トイレの改修等です。

1044  
万円

### 小中学校のエアコン設置 設計業務



**問** 冷房だけでなく暖房も使えるのか。  
**答** 学校教育課長 両方使えるが冬場は既存のFF式ストーブを使用して維持管理のコスト削減を検討したい。

### その他の質疑

**問** 大型バスの購入  
58人乗りの大型住民バスがなぜ必要なのか。  
**答** 企画財政課長 大和行き、利府塩釜方面が40人強の乗車数で2台で運行している。大型バスにすることにより1台で済み、効率化を図る。

**健康管理システムの導入100万円**  
**問** 健康管理システムの活用内容について。  
**答** 保健福祉課長 より高度な分析ができ、健診事務および保健指導の効率化が図れ、重症化予防対策がとれる。

**オリ・パラリンピックムーブメント事業**  
**問** どういった計画があるのか。  
**答** 学校教育課長 オリリンピック・パラリンピックにちなんだ学校行事を計画する。

**問** 地元ゆかりのある選手を呼ぶ考えは。  
**答** 学校教育課長 アスリート体験を想定している学校もある。

### 討論

#### 一般会計

### 反対 大友三男議員

運行できるコースが限られ、利用価値の少ない大型バス(約2600万円)を購入するより、29人乗りのマイクロバスを2台(約1370万円)購入すべきだ。マイクロバスは将来の新交通システムにも利用可能となる。

※デマンド方式 電話予約など利用者のニーズに応じた柔軟な運行を行う公共交通の一形態。

平成30年9月定例会 議案採決結果一覧表

9月定例会  
条例改正

一般議案は条例の一部改正3件、  
規約変更1件、同意1件を原案どおり  
可決しました。

分類	議案名 (略称)	採決結果	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	熱海文義	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
報告	健全化判断比率について	報告のみ															
	資金不足比率について	報告のみ															
同意 P12	教育委員会委員 (武藤光広氏)	同意	無記名投票														
条例 改正 P12	災害による被害者に対する町税の軽減又は免除に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	町営住宅条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
規約 P12	黒川地域行政事務組合規約の変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
補 正 予 算 P10 -11	一般会計 (第2号) 50億4746万円 (1億8798万円↑)	可	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険 (第1号) 7億9792万円 (1507万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	介護保険 (第1号) 10億6640万円 (1558万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	後期高齢者医療 (第1号) 8651万円 (215万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	下水道事業 (第1号) 2億4115万円 (5万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	農業集落排水事業 (第1号) 5284万円 (210万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽 (第1号) 6234万円 (172万円↓)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業 (第2号) 6562万円 (26万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	水道事業会計 (第1号) ①収益的支出: 2億2932万円 (増減なし) ②資本的支出: 1億7223万円 (1914万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計歳出 47億708万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険歳出 9億2786万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
介護保険歳出 9億7722万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
後期高齢者医療歳出 7610万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
下水道事業歳出 2億3800万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
農業集落排水事業歳出 5634万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
戸別合併処理浄化槽歳出 5706万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
宅地分譲事業歳出 1億1531万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
水道事業 ①収益的支出: 2億3266万円 ②資本的支出: 8745万円	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 退:退席 欠:欠席  
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。  
(↑)は増額、(↓)は減額

**可決**

地方活力向上地域  
における固定資産税  
の不均一課税に関する条例

法律の改正により、引用部分の変更をおこなった。  
「地方活力向上地域特定業務施設整備計画」→「地方活力向上地域等特定業務施設整備計画」  
また適用期間を平成32年3月31日まで延長した。

**可決**

災害による被害者  
に対する町税の軽減  
又は免除に関する条例

法律の改正により、引用部分の変更をおこなった。  
「農業災害補償法」→「農業保険法」

**可決**

黒川地域行政事務  
組合規約の変更

小中学校の結核対策を行っていた「結核対策委員会」について、該当者が減少したため廃止することとした。

**可決**

大郷町営住宅条例

法律の改正により、条例の整理をおこなった。

**同意**

教育委員に武藤氏を再任

教育委員会委員に武藤光広氏を再任することに同意した。  
(任期:平成30年10月1日から4年間)

むとう みつひろ  
武藤 光広氏 (上郷)

定例会



千葉 勇治 議員

## すべての教室にエアコン設置を

国の財政支援見ながら設置していく(教育長)

**問** 小中学校のすべての教室にエアコンを設置し学習に集中できる環境整備を図るべきと考えるが。

**答** 教育長 9月補正予算に小・中学校のエアコン設置に向けた設計費を計上し、今後国のエアコン設置に係る財政支援の動向を見ながら普通教室と特別教室にエアコンを設置していく。

**答** 町長 学校を設置する立場からの意見として、3度の飯を二度に減らしても大事な子どもたちのためにエアコン設置に取り組んでいく。

**問** 保護者の声に沿った「こども園」開設を

**問** 幼保連携型認定こども園の設立にあたっては、対象となる保護者の意見をよく聞き対応したい。

**答** 教育長 平成32年4月の認定こども園開園に向け保育内容の詳細について協議していく必要がある。保護者説明会や今後設置される三者協議会の参考とするため、乳幼児総合施設に意見箱を設置し、意見集約を図っていく。

**問** 経験豊かな保育士確保について委託先との協議は。

**答** 教育長 懸念される保育士の確保について大変な状況は認識しており、不足が生じないよう強く働きかけていく。



▲エアコンが設置されている特別教室

## 安全な学校給食に 万全を尽くせ

**問** 輸入食品の安全性が問われているが、安全性のチェックについて町はどのように対応しているのか。

**答** 学校教育課長 農林水産省や厚生労働省等、国において輸入食品の安全性の監視体制がとられている。輸入食品・国内食品に関わらず、給食センターに納入する業者に対し、品質の確保を図るよう指導している。

## 食物アレルギー 対策を急げ

**問** 検討を約束していた食物アレルギー対策について進展が見られない。どうなっているのか。

**答** 学校教育課長 今後給食センター調理室を整備する必要も考えられるので、委託する法人や保護者の意見を集約しながら進めていきたい。



大友 三男 議員

## まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みは

町民ニーズにあわせ取り組んでいく(町長)

**町内雇用創出を**

**問** 前町長は2期8年で株高木商店や農業法人3者を誘致し、今後約240人の雇用予定がある。田中町長は通算4期目に入り1年経過したが、どのようにして雇用創出をするのか。

**答** 町長 情報を活用をしながら、異業種の民間活力導入による誘致を模索している。

**問** 若者の雇用を創出することが活力のあるまちづくりになると思うが。

**答** 町長 町民ニーズに答えるため大胆に取り組む。

## 町民会議の必要性とは

**問** 町民を役場に呼ぶのではなく町長から各地区に向き、広く町民の意見を聞き町政に反映させることが町民第一主義の基本では。

**答** 町長 町民会議は町民からの意見や提言をまちづくりに生かすため実施している。今後、町民会議や地区懇談会を検討していく。

## 移住定住促進策は

**問** 「恵の丘」分譲事業以外にどのような移住定住促進策で町外の方に移住していただき人口増を図るのか。

**答** 町長 結婚、出産、給食費無償化など子育て支援策、住宅支援策で住みたい町の実現を目指す。

**問** 1億500万円で物産館を改装するとの事だが、平成31年度実施事業にすれば国補助金の対象となり、二分の一の約5000万円で済む事業だったのでは。交流人口や移住定住をどのくらい見込んで事業を始めたのか。

**答** 町長 今より良くなることを目指している。

## 更なる子育て支援の拡充

**問** 全議員が賛成し、平成31年度実施予定の3歳児教育を田中町長は突然中止し、平成32年度に幼保連携型認定こども園にすることとした。ただ変更するのではなく、平成31年度新入園児に運動着や制服の無償支給をできないか。

**答** 町長 保護者や運営法人と子育て支援の在り方を検討する。

## 町道、赤道の整備状況

**問** 3月以降生活道路の舗装や二重ライン整備が何件実施されたのか、今後どのような計画で実施していくのか。

**答** 町長 生活道路の舗装や二重ライン整備を行った箇所はないが赤道を加えた生活道路整備を行っていく。



▲株イグナルファーム大郷が操業しています。(大松沢) 若者から高齢の方まで幅広い雇用を期待したいものです。





赤間 茂幸 議員

## 防災マップ等を見直す考えは

改正していきたい(町長)

**問** 防災体制の強化が求められる中、防災訓練の対応は十分か。

**答** 町長 年1回、総合防災訓練と水防訓練を同日に実施。有事の際、水防活動が円滑に行えるよう訓練を行っている。

**問** 地域と学校による避難所運営訓練を中学生と一緒に実施しては。

**答** 教育長 各地域の訓練のときに中学生も活動するように働きかけてやってみるのが一番で、啓蒙も含め呼びかけをお願いしたい。

**問** 防災マップ等を見直す考えは。

**答** 町長 作成後3年が経過している。県管理の味川、滑川、鶴田川などの洪水・冠水想定区域が示された後、改正していきたい。



赤間 滋 議員

## 総合計画と教育環境の充実を

新たな政策などを計画していく(町長)

**問** 赤間前町政が策定した大郷町総合計画について、町長の所見を伺う。

**答** 町長 実施計画は3年ごとのローリング方式で毎年策定し新たな政策なども計画していく。

**問** 過去3期12年間の田中町政においては、なぜ計画通り人口増加が推移しなかったと分析しているか。

**答** 町長 精力的に人口を増やす政策が整っていなかった。今後、町や民間活力などによる定住促進等を実施し一人の目標を達成できるように努めていく。

### 総合計画について

**問** このままでは、これからの人口は減る一方である「恵の丘」完売後に新たな住宅団地を造成する考えはないか。

**答** 町長 いかにして造成工事費をかけないで安く、若者の定住を実現するか新しい手法を考えていく。

### 教育環境の充実を

**問** 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ教育の充実や改善等にどのように活用し、学力向上を図っていくのか。

**答** 教育長 幼児期から小学校までの切れ目のない教育を根幹として、学力向上対策委員会で協議した推進施策を基に、質の高い授業の実践を行っていく。

**問** 学習しやすい環境の整備のため、エアコン設置の考えは。

**答** 町長 今後、国のエアコン設置に係る財政支援の動向を見ながら普通教室と特別教室にエアコンを設置していく。

### 一般質問

### 本町の目指す「こども園」は

**問** 幼・小・中一貫教育の一番最初の土台となる、幼児教育は町の政策にかかっている。「大郷ブランド」の子どもたちを育て、「教育の町大郷」が広く認知される「こども園」を目指してほしい。

**答** 教育長 大郷町総合計画の幼児教育に関する基本方針である「大郷町の乳幼児を保育する」という認識のもと、乳幼児の発達に必要な教育・保育を総合的に提供し、子どもたちの健全な成長を育んでいく。



▲子どもたちは町の宝です。(大郷小学校学芸会)



### 安心安全な教育環境を

**問** 部活動の適正化にむけて30年度要求額15億円、指導員の配置人数7100人程度予定している。教育上の配慮からも適切な人材が確保できるのか。

**答** 教育長 非常に問題になっており、基準に該当する指導者を見つけているのが大変であり、自治体の経費負担がかなり多いので採用していない。

**問** 体力向上、学力向上対策は。

**答** 教育長 学校・家庭・地域社会と連携し体力・学習意欲の向上を図り、「幼児期から小中学校までの切れ目のない教育」を根幹として、質の高い授業の実践を行っていく。

### 産業振興で安定した雇用を

**問** 企業誘致の成果は。

**答** 町長 事業所数、従業員数は、農業法人が大松沢地区に進出するので、目標値を達成できる見込み。

### 移住・定住の促進で新しい人の流れを

**問** 移住・定住促進事業の成果は。

**答** 町長 平成29年度までの空き家バンク相談件数は136件。空き家バンク登録物件10件中、9件は契約済み。

### 一般質問



和賀 直義 議員

## 子どもの命を守る教育環境を

安全確保に引き続き取り組んでいく(教育長)

### 通学路の安全確保は

**問** 交通安全プログラムが策定され、危険箇所とその対策を立てられたがその後の進捗の検証は。

**答** 教育長 大郷町歯科医院付近の歩道の途切れや、「ちばや」付近の信号機の設置等は改善にはいたっていない。引き続き改善の取り組みを働き掛けていく。

**問** 通学路のブロック塀等の安全点検を実施すべきだ。

**答** 地域整備課長 ブロック塀などの点検を実施した。県職員も同行し詳細の調査をした。改善の必要がある場合は文書で願う。

**問** 除去に対しての補助は。

**答** 地域整備課長 1㎡当たり4千円で上限15万円を補助している。

### エアコン設置を

**問** 子どもが犯罪に巻き込まれる事件が後を絶たない、防犯カメラの設置を。

**答** 教育長 主要交差点、校門前に6台設置済み、今年は8台を設置する。

**問** 学校環境衛生基準が4月に見直された。望ましい温度の基準が17℃～28℃となった。子どもを守り、学力向上にも効果が期待できると考え、小中学校の教室にエアコンの設置を。

**答** 教育長 9月補正予算に設計費を計上、国の動向をみながら普通教室と特別教室にエアコンを設置していく。

**問** 心肺蘇生教育の普及推進で突然死ゼロを。

**答** 教育長 AEDの設置状況は、幼稚園に1台、小学校に2台、中学校に2台設置されている。教職員のAEDの講習は年1回実施している。

### 高齢者の移動手段の確保を

**問** 高齢者の運転免許証返納の実態は。

**答** 町長 29年は16名、30年は7月までに7名の方が返納している。

**問** 返納が進む一方、一番心配されるのが移動手段の確保だ。近くに店がない、病院がない、移動手段に何らかの助成、施策は。

**答** 町長 高齢者が利用しやすい地域交通手段として、75歳以上の世帯の方を対象に外出支援事業の試験運行を実施する。期間は31年1月～9月までとし、町民ニーズや利用状況などを検証し、10月から本格運行に向け、制度設計していく。



▲地域の見守りで安全安心を

## 水田活用で畜産振興を

熱意あれば応援借しませず(町長)



若生 寛 議員

**問** 水田農業がメインであるが、水田を利用した多品目への分散も必要と思うが。

**答** 町長 市場性、生産補償、労働力、生産体系の確立の必要がある。JAあさひなど連携しながら、飼料用米、大豆、重点作物の生産拡大に努める。



▲畜産施設整備事業を活用した近代的な牛舎

### 物産館改修の進捗状況は

**問** 水田の草地化で畜産振興を。

**答** 町長 農家の熱意あれば応援借しまない。

**答** 農政商工課長 畜産施設整備事業を1件活用した。

**問** 改修の進捗状況は。

**答** 町長 耐震診断調査の実施によりプレオープンが1カ月延び、11月下旬を目標としている。

**問** 物産館駐車場拡張の進捗状況は。

**答** 町長 駐車場は道の駅西側の水田、畑を転用し、駐車台数170台とする計画。民間事業者が整備し地域振興公社で借用する。

**問** 物産館改修の計画変更の際は素早く報告し、説明をすべきではないか。

**答** 農政商工課長 改めて現場での説明を行う。

**問** 産直の運営方法は。

**答** 町長 緊密な連携を図りながら事業推進に努めるよう指導助言していく。

**問** 生産物の作付誘導に關し町で人材確保を。

**答** 町長 地域おこし協力隊の募集要項に組み込みたい。

**問** 開発センターを図書館や中央公民館として活用しては。

**答** 農政商工課長 公社改革プランにおいて、開発センターと縁の郷は活用方法を検討中である。結果についてはもう少し時間が欲しい。

一般質問

一般質問



佐藤千加雄 議員

## 将来のまちづくりのビジョンは

### 農業こそが成長産業である(町長)

**問** 田中町政2年目に向けた町づくりのビジョンは。

**答** 町長 産業振興については「農業こそが成長産業」であると考えている。これから操業する農業法人にとどまらず、農業と連携した異業種参入を加え、裾野の広い産業としていきたい。

**問** アグリビジネスでの田園都市構想を展開するうえで、日本農業の最先端を走る(株)村上農園、(株)サラダポールの社長を招きパネルディスカッションを行うシンポジウムの開催を提案したい。

**答** 町長 私もそのような行事を考えていた、異業種を招いて広く議論をしていきたい。これは初めての試みとなるので、農家・農協・消費者にも呼びかけて実行したい。

## メタボ対象者へ積極的指導を

### 保健師が直接指導している(町長)

**問** メタボ対象者の推移は。

**答** 保健福祉課長 予備軍を含めると26年度27・5%、27年度28・5%、28年度31・2%である。

**問** 予備軍を含めメタボ対象者で、保健指導を受けた数は。

**答** 保健福祉課長 ※1積極的支援対象者25名のうち6名、※2動機づけ支援対象者86名のうち20名にとどまっている。

**問** この少ない数字をどう捉えている。

**答** 保健福祉課長 保健師が該当者へ健診結果を直接持参して説明し、支援につなげていく形をとっているが、固辞される方がいる。職員も努力しているが、任意なので難しい部分もある。



石川 寿和 議員

**問** メタボ対象の職員の意識と、その指導について伺う。

**答** 町長 40歳以上の予備軍を含めた該当職員に、医療機関で「特定保健指導」を受けるよう指導している。

**問** 歯周病検診の現状について伺う。

**答** 保健福祉課長 現在実施していないが、来年度から、近隣の市町村の例を見ながら具体的なプランを考えていきたい。

### メタボリックシンドロームの判定基準

腹 囲 (必須)	男性85cm以上	女性90cm以上
+		
①血中脂質	中性脂肪 150mg/dl HDLコレステロール40mg/dl未満 (どちらか、又は両方)	
②血 圧	収縮時血圧 (最高) 130mmHg以上 拡張時血圧 (最低) 85mmHg以上 (どちらか、又は両方)	
③血 糖	空腹時血糖値 110mg/dl以上 (又はHbA1c値が6.0%以上)	
メタボリックシンドローム: 腹囲と ①~③のうち2項目		
メタボリックシンドローム予備軍: 腹囲と ①~③のうち1項目		

**問** 移住・定住や地域おこしに、地域おこし協力隊やコーディネーター制度を活用して実績を上げている自治体も多い。特別交付税措置もあると聞く。この制度を活用し、地域おこし、移住・定住促進に取組むべきと思うが。

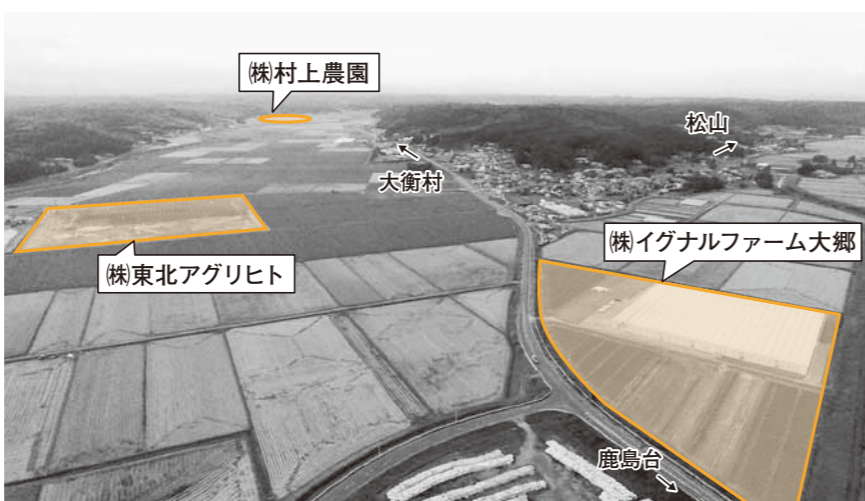
## 移住コーディネーター等の設置を

**答** 町長 特別交付税で措置する事業は各種あるが、町では都市圏から住民を受け入れ、町の活性化やPRに活躍してもらえらる「地域おこし協力隊」が最適と考え、平成29年度から募集を始め、本年度4月に2名の隊員を任命した。また受入れ団体と協力しながら、引き続き隊員を募集している。

## ショッピングセンターの誘致を

**問** 若い人の移住定住にショッピングセンター誘致が不可欠と思うが所見を伺う。

**答** 町長 若者や子育て世代の移住・定住促進には生活基盤強化による魅力あるまちづくりが欠かせないが、近隣自治体に既存の大型店舗があり、ショッピングセンター誘致は難しい。



▲操業へ向けて工事が進む大松沢の農業法人。農業新時代へ

**問** 空き家バンクの利用拡充のため、移住お試し住宅の補助事業の活用を。

**答** まちづくり推進課長 お試し住宅など空き家のほり起こしに可能か検討する。

**問** 若者主体の大郷町再生プロジェクトの設立を。

**答** 町長 教育委員会とも連携を図りながら、前向きに考えたい。

**問** 婚活イベントを町単独で実施しては。

**答** まちづくり推進課長 イベントを含め、出会いの場をさまざまな形で提供できる策を考える。

**問** 工業系企業の誘致について、遊休農地、雑種地、山林などを地図に落とし込み、企業のニーズにあった土地の提示が必要では。

**答** 町長 大規模な面積を必要とする企業の誘致は難しい。本町の土地柄に合った、農地を生かす土地利用が、よそとは違う環境で発展しているのではないかと考えている。

**問** そのためには農地・空き地バンクが必要では。

**答** 町長 行政区長にも協力をいただきながら進めることが大事と考える。

**問** 「恵の丘」に格安が魅力の住宅展示場を。

**答** 町長 「恵の丘」では考えられない。各集落に5軒ぐらいの住宅を、格安で理想の間取りで、アパートの家賃で購入できるように住宅を提供することを考えている。それが大郷らしい住宅産業だと思う。

**問** 若者向け住宅リフォーム助成の増額を。

**答** まちづくり推進課長 今後の検討課題とさせていただきます。

※1 積極的支援 生活習慣を振り返り、ライフスタイルにあった目標を設定し、実行を続けられるように保健師などが継続的にお手伝いする。  
 ※2 動機づけ支援 生活習慣を振り返り、ライフスタイルにあった目標を設定し、実行に移せるようなきっかけづくりを保健師などがお手伝いする。



▲笑顔でのびのびの子どもたち（南越前町）

**① 岐阜県大垣市** おおがきし  
「子育てで日本一のまち」を掲げ、子育て支援条例を平成22年に施行。幼保一元化の推進を図るため、保育園を平成17年に設置、地域と一体となった総合的な子育て支援を実施している。

**② 福井県南越前町** みなみえちぜんちやう  
公立と民間の認定こども園があり、1号認定の割合

## 「教育・福祉の充実について」

は1割程度と低く、保育希望が圧倒的多数となっている。

### ③ 富山県朝日町

子育て県下一を掲げ、特徴的な子育て支援の施策を実施し、出生率1・5と県平均までアップしている。妊娠から出産、育児をフルサポートする「母子電子手帳アプリ」を母子健康手帳と併せて使い、成長をサポートしている。

保育所に預けないで子育てする家庭に、保育士の費用を還元する「お家で子育て応援事業（月に3〜6万円を支給）」を実施している。

#### 【意見】

視察した自治体はいずれも保育士の確保が困難な状況であり、本町においても同じ状況にあると考える。保育人材の確保や研修の充実を図るべきである。

**② 岡山県和気町** わけちやう  
移住者に対して、移住推進員・移住促進アドバイザーによる支援を行っている。「教育」を地方創生の柱に据え、子育て世代の移住定住を図っている。

## 「移住定住促進について」

#### 【意見】

地域の優位性、交通の優位性を生かし、推進員やアドバイザーを有効に活用し、移住定住の活性化を図るべきである。



▲「芸術」を活用したまちづくりに取り組む

**① 認定NPO法人グリーンバレー（徳島県神山町）** かみやまちやう  
地域おこしでは『奇跡の町』と言われる画期的な事業を展開。人と人のつながりで産官学民の協働のまちづくりが成り立ち、様々なプロジェクトが行われていた。

#### 【意見】

国の補助事業を有効に活用し、地方創生戦略事業を大郷町らしさが力強く打ち出せる事業とすべきである。戦略会議に産官学民から、実行支援する人を集め、次世代につなぐプロジェクトを作成すべきである。支倉常長でのまちおこしは、町内の小学生、高校生からも提言されている。町として第一に取り組むべき事業である。

### ③ 兵庫県神河町

移住コワーキングスペース、移住定住者にアドバイザーを行っている。空き家の利活用事例が多彩である。

#### 【意見】

神河町はバンクの運営が長く、移住定住の補助金が高額であった。本町でも空き家活用支援事業、再生等支援事業などの、地域交流施設や滞在体験施設などあらゆる角度で導入を検討すべきである。



▲子育て県下一の施策を力説する笹原靖直町長（朝日町）

次回は  
「ごみの分別・減量化と新ごみ焼却施設の現状について」  
調査します。



▲移住・定住の取り組みについて説明をうける（神河町）

次回は  
「公共施設等の総合管理計画について」  
調査します。



- ① 岐阜県大垣市
- ② 福井県南越前町
- ③ 富山県朝日町



- ① 認定NPO法人グリーンバレー（徳島県神山町）
- ② 岡山県和気町
- ③ 兵庫県神河町

9/8

ふな がた まち

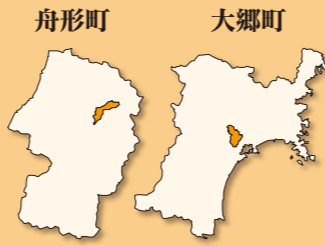
# 山形県舟形町へ見舞金

8月の豪雨災害によって被害を受けた山形県舟形町（災害時相互援助協定自治体）に対して、大郷町から見舞金を送りました。舟形町のふるさと納税で義援金を受け付けております。



▲見舞金を渡す鹿野毅教育長

▲左：鹿野 毅教育長、中央：森 富広舟形町長、右：石川良彦議長



舟形町 大郷町

# 西日本豪雨・北海道胆振東部地震被災地へ見舞金

宮城県町村議会議長会（大郷町を含む21町村）から被災地へ見舞金を送りました。

## 議会の主な動き (7/1~9/30)

月 日	用 務	月 日	用 務
7/1	建町記念式典	8/24	おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会
7/3	広報広聴常任委員会	8/30	議会運営委員会
7/4~6	宮城黒川地方町村議会議長会管内議長視察研修(福岡県・熊本県)	8/30	宮城県町村議会議員研修会(加美町) P.26
7/11	黒川地域行政事務組合臨時会	9/4	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会 吉田川・鶴田川部会
7/11	全国議会広報クリニック(東京都)	9/6~21	第3回(9月)定例会
7/11~12	全国地方議会サミット2018(東京都)	9/7	大郷中学校運動会
7/17	広報広聴常任委員会	9/7	広報広聴常任委員会、総務産業常任委員会、教育民生常任委員会
7/18~20	総務産業常任委員会視察 P.22	9/8	ふながた若鮎まつり(山形県舟形町)
7/24~25	町村議会議員講座(仙台市)	9/10	議会改革調査特別委員会
7/28	郷和荘夏まつり	9/12	秋の交通安全運動県民総ぐるみ運動拡大会議
8/1	議会運営委員会視察 P.24	9/13	おおさと地域振興公社に関する調査特別委員会
8/4	おおさと夏まつり	9/16	大郷町敬老会
8/8~10	教育民生常任委員会視察 P.23	9/21	秋の交通安全運動開始式
8/16	戦没者忠霊碑参拝	9/22	大郷保育園運動会
8/16	羽生の丘夏祭り	9/23	黒川地区交通安全宣言大会
8/22~23	宮黒町村議会議長会正副議長・事務局長研修会(岩手県矢巾町・釜石市)	9/25	交通死亡事故ゼロ1500日間達成県警本部長「褒状」伝達式
8/24	議員全員協議会	9/30	大和駐屯地創立62周年記念式典

# より分かりやすい広報を目指して

① 町村議会広報研修会  
(東京都千代田区)

② 株会議録センター  
(埼玉県鴻巣市)

全国の町村議会を対象にした広報研修会が開催され、県内から8町が参加した。第31回町村議会広報コンクールの上位2町の講評も行われ、町と住民に寄り添った情報の編集力が巧みな広報紙が上位選定の理由だったと評価された。

【所感】  
議員、議会の視点と住民の関心をつなぐ編集や住民との一体感が感じられる紙面づくりが重要と感じた。

【所感】  
議員、議会の視点と住民の関心をつなぐ編集や住民との一体感が感じられる紙面づくりが重要と感じた。



▲分かりやすいレイアウトを勉強中(株会議録センター)

# インターネット中継で議会を茶の間に

## 開かれた議会活動の先進地に学ぶ

① 利府町  
中継を新庁舎建設後からスタートしており、議会・

② 蔵王町  
中継により若者の魅力あるまちづくりにもつながっていた。

ほかに通年議会を実施

【所感】  
本町においてもインターネット中継に必要な議場システムの早急な整備に取り組み、住民によく見える議会を目指し、議会運営に鋭意努めていく方針である。



▲議場システム導入へ向け、先進地の実態を調査(利府町)

# 次回定例会

みなさんの傍聴をお待ちしています

12月4日(火)から  
12月7日(金)まで

議会の生の声を

# 追跡レポート

## 地場産品の活用を

学校給食への地場産品の導入を積極的に行われた。  
(平成28年度予算審査特別委員会意見書より)

## その後の対応と今後の計画

平成29年度の地場産品利用率は44.4%で、前年度と比較すると6.3%高くなっています。米・米粉パンは100%大郷産を使用し、野菜は、提供可能な物を事前確認し、1年を通して利用できるように献立を工夫しています。また、生産者・保護者などで組織する地場農産物利用推進委員会を年2回開催し、意見や情報を交換し合い、地場の食材を利用推進できるよう取り組んでいます。

今後は、より多く地場産品を利用できるよう野菜の規格の幅を広げるなどの工夫を図っていきたくと考えています。  
給食センター所長



▲手作り味噌で豚汁を作りました。



▲地方創生へ向けた動きの加速を (政府広報オンラインHPより)

## 地方創生への取組みは

まちづくりコーディネーター業務のねらいは。  
(平成30年6月定例会 一般会計補正予算審議より)

### 町長

中央の経済情報把握のために関東圏の方に委託する。

## その後の対応と今後の計画

まちづくりコーディネーター業務については、魅力あるまちづくりの推進を図るため、専門的な知識やこれまでに培った経験を有するエキスパートに、まちづくりに関する指導や助言及び企業の情報収集や提供を行うことを目的としています。

7月から関東在住者(1名)をコーディネーターとして契約(契約期間は平成30年7月1日から平成31年度3月31日まで、契約金は97万2千円)を交わし、地方創生に関して内閣府職員と面談活動を行い、今後も魅力あるまちづくりのために尽力していただきます。

まちづくり推進課長

# こんな研修会ありました

## 町村議会広報クリニック

(主催 全国町村議会議長会) 場所 全国町村議員会館

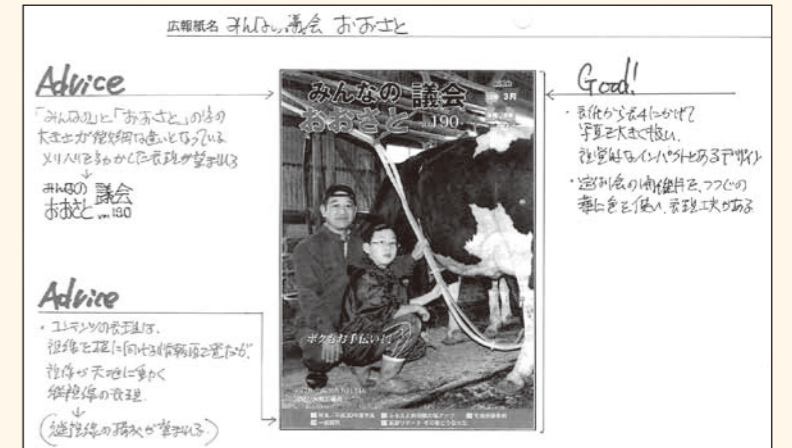
7/11

### 講師

ながおか みつひろ  
グラフィックデザイナー 長岡 光宏氏  
町村の議会広報紙のクリニック  
本町の3月広報紙も提出

### 所見

広報紙1ページごとに、アドバイスをいただいた。表紙は大変好評であったが、まだまだ改善が必要と感じた。いかに手を抜かずに読み手の側に立った編集が必要であるか、今後も努力が必要である。



## 宮城県町村議会議員講座

(主催 宮城県町村議会議長会) 場所 宮城県自治会館

7/24・25

### テーマ

○農山漁村の地域経済活性化と自治体の役割

講師 食環境ジャーナリスト  
かなまる ひろみ  
金丸 弘美氏

### テーマ

○町村議会・議員のあり方 2つの意味での急展開を踏まえて  
- 「住民自治の根幹」としての議会を作動させる -

講師 山梨学院大学大学院教授  
えとう としあき  
江藤 俊昭氏

## 宮城県町村議会議員研修会

(主催 宮城県町村議会議長会) 場所 中新田バッハホール

8/30

### テーマ

「日本政治の行方～人口減少社会に向き合うために～」

講師 読売新聞特別編集委員  
はしもと ごろう  
橋本 五郎氏

### テーマ

「南三陸町の復興とこれからの歩み」

講師 南三陸町長  
さとう じん  
佐藤 仁氏



町の産業に

# インタビュー

喜びの秋おいしさ届けます



ムラヤマファーム

村山 <sup>たかひろ</sup> 貴宏 さん

かおり さん

### 就農のきっかけは？

自分も新たなチャレンジをしてみたいと思い、2001年に就農した。

### 会社の規模は？

4人（両親・妻）の家族経営だが、両親とは部門を分けて基本的に夫婦二人で作業している。ブドウを35a、16種類を栽培中。

### 会社の方針は？

『お客様と生産者、互いの顔が見える農業』を基本

理念とし、できる限り直接販売を行っている。

### 販売先は？

シーズンは「道の駅おおさと」で対面販売している。

### 苦労していることは？

自然相手、年に一作の仕事なので、全てが苦労の連続。よく観察し、勉強し、同じ失敗を繰り返さないよう努力している。

### うれしかったことは？

「美味しいブドウを作っ

てくれて、ありがとう」と言われること。自分たちの作る物を毎年待つている人がいる“ということがとても有難い。

### 今後の目標は？

農業という職業を通して、お客様に「果物、農産物の魅力」そして「大郷町の魅力」を発信していきたい。

### 編集後記

10月10・11日の2日間東京・埼玉での広報研修会に参加してきました。町民の皆さんに議会の様子をお知らせすべく、研修を重ねながら編集委員一同頑張っています。一人でも多くの皆さんに読んでいただけるように、どんな記事を書けるか編集室では議論が続きません。今後も工夫を重ねながら頑張ります。

佐藤千加雄

